

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
旅行業務総合演習 General Practis of Travel Business		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(国内旅行業務取扱管理者試験必修)	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する意思のある学生に限定
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理・旅行関連法規・国内旅行実務 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理・旅行関連法規・国内旅行実務 I				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清	本館2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
国家試験（国内旅行業務取扱管理者）の合格を目指し、毎週勉強している国内観光地理・旅行関連法規・国内旅行実務 I の講義内容と関連させた内容の過去問題に取り組む。				
授業の目標				
①毎週勉強している国内観光地理・旅行関連法規・国内旅行実務 I の内容と関連させることで、講義内容への理解が深まり、国家試験対策として実践的な知識を深めることができるようにする。 ②試験問題に慣れ、国家試験合格レベルへ到達できるようにする。				
授業の方法				
毎回テーマを変えた過去問題に取り組み、解答と採点と解説を繰り返しながら、理解を深めていく。尚、講義には質疑応答形式を多用し、実力のアップを確認しながら進めていく。				
学習の成果（学習成果）				
講義を真摯に聴講し、指示された復習をきちんと行うことにより、国家試験に合格できる学力を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（講義の進め方および国家試験受験に向けたスケジュール）			
第2回目	国家試験対策① 国内観光地理①（外国人の好きな日本の観光地ベスト30）			
第3回目	国家試験対策② 国内観光地理②（日本の名数）			
第4回目	国家試験対策③ 国内観光地理③（日本の祭り）			
第5回目	国家試験対策④ 国内観光地理④（日本の名物料理）			
第6回目	国家試験対策⑤ 過去問題取り組みと解説 旅行業法①			

第7回目	国家試験対策⑥ 過去問題取組みと解説 旅行業実務①	
第8回目	国家試験対策⑦ 過去問題取組みと解説 旅行業約款①	
第9回目	国家試験対策⑧ 過去問題取組みと解説 旅行業法②	
第10回目	国家試験対策⑨ 過去問題取組みと解説 旅行業実務②	
第11回目	国家試験対策⑩ 過去問題取組みと解説 旅行業約款②	
第12回目	国家試験対策⑪ 過去問題取組みと解説 旅行業法③	
第13回目	国家試験対策⑫ 過去問題取組みと解説 旅行業実務③	
第14回目	国家試験対策⑬ 過去問題取組みと解説 旅行業約款③	
第15回目	国家試験対策⑭ 過去問題取組みと解説 運送宿泊約款・旅行業実務④	
事前・事後学習	事前：授業Scheduleに合わせて、教科書の当該部分を一読してから授業に臨む事 事後：授業での不明点は、次回授業までに調べ理解しておく事	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。
レポート		
調査報告書		
小テスト	40%	毎時間配布する過去問題の解答状況を確認し、個人別の理解度を把握する。
試験	40%	各テーマの理解度・学習度が高いこと。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
2019旅行業法及びこれに基づく命令（JTB総合研究所） 2019旅行業約款・運送・宿泊約款（JTB総合研究所） 2019国内運賃・料金（JTB総合研究所） 2019国内観光資源（JTB総合研究所）		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（職種：旅行業（国内旅行業務）、職歴：通算31年 3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中での無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。		